

い～な！いなべアイデアコンテスト（INA-CON）

# 災害用自動販売機の設置

代表者：麻生夢登

## 私たちが思う『こんな「いなべ市」に、なったらいいな！』

私はいなべ市の隣の東員町に住んでいます。いなべ市には歩いて10分近くで行くことができ、交通のアクセスも楽々で三岐鉄道に乗ればいなべ市を端から端まで行くことも出来ます。いなべには観光場所が多くあり自然を散策できる場所がいろんなところにあります。例えばいなべ公園や藤原岳などがあります。また、季節にちなんだイベントもあります。春はうめ祭り、夏はアジサイ祭り、秋はもみじ祭りを行っており他市町村他県からも来る人も多いようです。観光以外にも自転車ロードレースが行われたりします。このように、いなべでは自転車の全国大会が行われたことがあります。つまり他県からこられる人も多いと思いました。

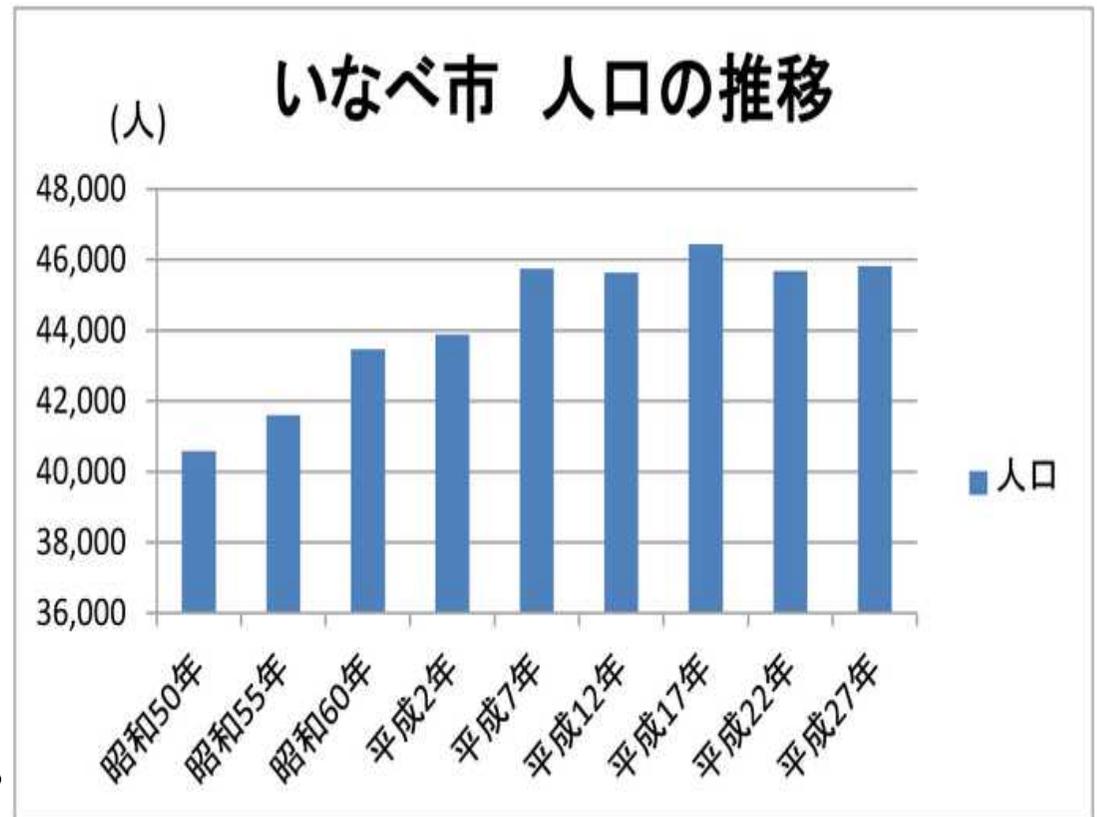
なので私はいなべに住んでいる人いなべに来てくれる人に安心して安全な町づくりができたらいいなと思いました。

## 関連する内容についての現状と課題

いなべに他県の方が来られるのは多いとわかりましたが、いなべに住まれている人は平成7年頃までは増加していますがそれ以降は横ばいとなっています。（図1より）

理由は大手企業があると言う事です。世界でも有名なトヨタ車体やデンソーと言った車会社がおおくあります。そのことにより会社に勤める人もいなべに増えるのだと思いました。

一方で高齢者が増えてきていると言う事です。今現在いなべには多くの高齢者がいるという事です。



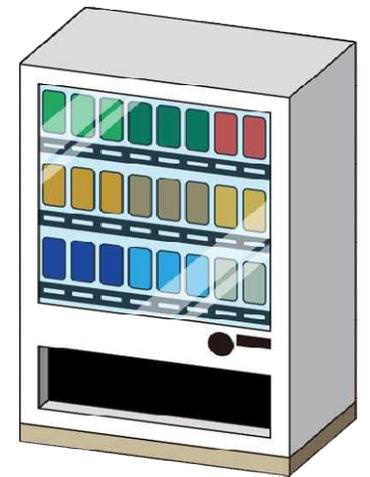
以上の結果より住んでいる人たちを安全に暮らせるためには災害等 しっかりと備えてあることだと僕は思いました。また今いる人口を **増やす**

**ことよりも減らないようにすること**

が大切だと思いました。

そこで考えたのが時にも災害時にも活用できるものが出来たらよいと思い自分が考えた提案は、

## 災害用自動販売機の設置



## 災害用自動販売機設置において

具体的な内容（図2より）次のページに記載

自動販売機の機種を災害用にする事により災害時、電気を流し無料でお茶やお水を供給できるようにする事、順次最新ニュースをデジタル掲示板でお伝えすることです。

又、自動販売機のデザインを赤色や青色ではなくいなべの観光名所などをイラストすることによりオリジナルを出せたらいいなと思いました。

今現在全国には災害用自動販売機は約1万台以上設置されています。特に設置されている場所は病院や駅、市町村の体育館などにあります。

その中の内災害用自動販売機に対応したのは数多くありません。でも買うと200万えん中古でも60万円と高額なので、今回はそのような状況をいなべ市や他県の人に分かってもらえるように今ある

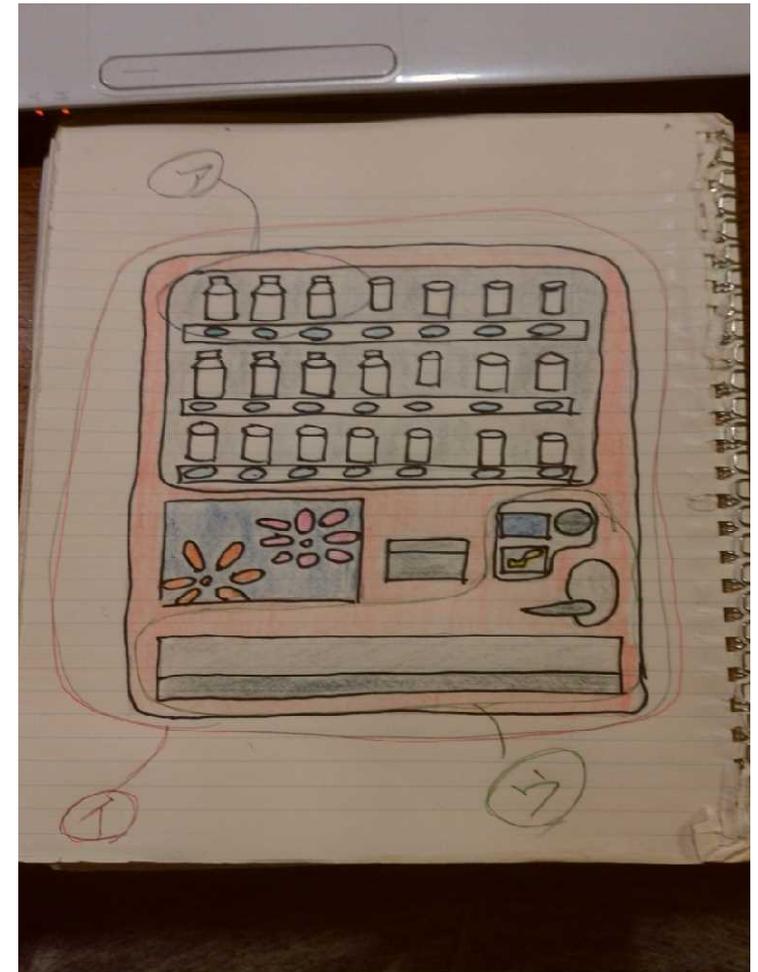
『災害用自動販売機をリメイク』したいと考えました。

～ 将来的に検討したい事～

ア、ドリンク（商品）を市販で売っているものを置くのではなくいなべのブランド品を置くことです。

図 2

イ、あくまでも仮定ですが、いろんな人でも利用できるように車椅子（ユニバーサルデザイン）の人のために小銭を入れやすくしたり最上段を手の届きやすいところにボタンを用意したり商品の出口しゃがまなくても取れやすくしたりすることです。



・より細かく・

ア、今現在いなべにはブレンド茶はありますが、ペットボトルでの販売はしていないことです。ちなみにお隣の四日市市ではJA みえきたと共同開発しかぶせ茶を作りペットボトルで販売していました。このようなことがいなべでもできたらよいなと思いました。さらに、開発したものを自動販売機でも販売出来たらもっと良いと思いました。

ウ、今の自動販売機はいろいろな人に使ってもらうことが大切だと思います。特に車椅子の人には小銭を入れる場所をスロープを取り入れる事によって使いやすくなることです。

## 必要な費用

・費用外観 9万円弱

・イラスト広告代（ポスターなど）1万

計 10万円

## アイデア実行のスケジュール

### その壱

いなべ市が管理している自動販売機の1つにしぼる

### その弐

自動販売機の外観を変えてよいのか会社に聞く

### その参

きまり次第外観のイラストを募集する（期間は2,3ヶ月）

いなべ市の住民にいろんな絵を募集して選ぶこと

### その四

イラストを決め、実際に取り入れる：完成

## 必要な人員

- 自動販売機会社
- 看板.イラスト会社
- 市役所の職員
- イラストを考えてくれる人（10000人）



## アイディアの実施のよって期待される効果

これらの事によって得られる効果は災害時に必要最小限の補給が出来る

と言う事。イラストを載せる事によって災害用自動販売機の存在感を、

いなべの人にわかりやすくすることができる。

さらに今後いなべオリジナルのお茶やお水を開発することによっていなべに

**遊びにくれた人に更なる発見が増える** と思ったからです。

